

令和 6 年度第 2 回名取市市史編さん委員会 会議録

日 時：令和 7 年 3 月 25 日（火） 午後 1：30～午後 3：00

場 所：仙台法務局名取出張所 2 階 名取市教育委員会 会議室 1

出席委員：渋谷武志委員長、瀧澤信雄副委員長、笠原信男委員、菅野正道委員、
千葉正樹委員、藤澤敦委員、相澤秀裕委員、小野友和委員、仙石次男委員、
小室昌弘委員、小島哲夫委員

事務局：齋藤正光教育部長、林タケル市史編さん室長、浅見智彦室長補佐、
遠藤晶乃主幹兼係長、鈴木健仁主幹、鈴木雄己主事、鳥居建己主任専門員、
李スルチョロン専門員、劉明達専門員、大友健太郎主事（兼務）、桑折肇主事（兼務）

1. 開 会

事務局

定刻となりましたので、令和 6 年度第 2 回名取市市史編さん委員会を開会いたします。開会にあたりまして、委員長の渋谷武志よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

〔委員長の渋谷武志よりあいさつ〕

〔事務局より配布資料の確認、資料の差し替えあり〕

3. 議 事

（1）報告事項

①令和 6 年度事業報告

委員長

まず（1）報告事項の①令和 6 年度事業報告について進めてまいります。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

〔資料に基づき説明〕

委員長

それでは、各専門部会と専門委員会から、それぞれの活動状況等について、ご報告を頂戴したいと考えております。まずは原始・古代部会から、順番によりしくお願い申し上げます。

委 員

〔資料に基づき説明〕

笠島廃寺跡を昨年度調査いたしました。戦後すぐに、ごくわずかな調査がされ、古代のお寺だということになりましたが、実態がよくわからないということで、今回調査いたしました。当初の奈良時代の公の寺院という想定とは大分違う様子だということは去年の調査でわかっていたのですが、それだけではなかなか性格が固まらないということで、去年の調査で畑の土を取るとすぐに柱の跡を確認できるだろうとわかりましたので、今年度は畑の土だけを重機で取って、遺構確認するという補足的な調査をいたしました。そうしたところ、寺の範囲を区切る塀の跡、北側と西側の塀がきれいに2時期つくりかえられた跡が出てきました。これで、寺院のおおよその範囲がわかり、平安時代の、公の寺ではなく地域有力者の寺だろうという想定がかなり確実になりました。市史に新たな知見を盛り込めることになったと思っております。

委員長

はい、ありがとうございました。

それでは続いて、中世部会、よろしくお願いします。

委 員

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい。ありがとうございました。

続いて、近世部会、よろしくお願いします。

委 員

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい。ありがとうございます。

それでは続きまして、近代・現代部会、よろしくお願いします。

事務局

本委員会には近代・現代部会長が不在のため、代わって事務局から報告申し上げます。

〔資料に基づき説明〕

委員長

ありがとうございました。

それでは続きまして、名取熊野部会、お願いします。

事務局

名取熊野部会につきまして、私の方から報告させていただきます。

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい、ありがとうございます。

それでは続きまして、民俗・地域誌部会、お願いします。

委 員

民俗・地域誌部会の報告の前に2月18日に専門委員会を開催いたしましたので、その報告をいたします。本日議題に上っている内容を専門委員会でも協議いたしまして、基本的にはそれを了承し、今日の議案に至っています。この後本委員会で協議します執筆要項につきましては、修正意見が出ましたので、会議後に専門委員会の意見を反映しております。

それでは、民俗・地域誌部会について報告をいたします。

〔資料に基づき説明〕

私は、石碑調査に入っておりますが、この調査につきましては、名取市歴史民俗資料館のボランティア会の石造物ワーキンググループの方たちが、昨年から今年にかけて市内調査をしており、私もそれにまぜていただく形で調査いたしました。ここにおられる委員も一緒に調査をしているところでございますけれども、1000基以上の石碑を確認しながら、詳細な調査をしております。スムーズに調査が進んでいるのは、歴史民俗資料館のボランティアの方々から非常に恩恵を受けているということがございます。以上です。

委員長

ありがとうございました。

皆様、本当に幅広く、積極的に活動していただいていることが良くわかりました。事務局からの説明は以上ですね。

それでは、いまご説明いただきました内容について、皆様からご質問、あるいはご意見でも構わないと思いますが、頂戴してまいりたいと思います。

委 員

2、3質問したいのですが、原始・古代部会の報告にありました多賀城碑拓本調査は、名取市史とどう関連づけて調査しているのでしょうか。

事務局

この拓本は市内の商家が所蔵しているものです。名取市の商家の交友関係に結び付くかと考え、調査しました。拓本の制作年代や制作者、また誰から送られたものなのか、そういったことがわかれば、地域の商人の交友関係などもわかるかと考えました。

委 員

多賀城碑の拓本を原始・古代編で直接扱うかどうかはわかりませんが、古代を担当する先

生方に見ていただいたところです。

委 員

それから、中世部会の報告についてですが、前回のこの委員会で樽水の「樽」が「垂」という字になっていたのを、直してもらいました。ただ、この字で良いのかどうか、木編に尊敬の「尊」を書いた樽水とどちらが正しいのか、私も迷っています。いろいろ調べたところ、「垂」を使っているものと、「樽」を使っているものが混在して出てきます。これは何か正確な資料を確認していますか。

委 員

まだそこまで至っておりません。中世だけではなく、近世にも関わってくると思いますので、今後、意識して見ていきたいと思います。

委 員

それから、その下の、川上大館縄張図作成にある大館の「館」の字ですが、川上大館跡については発刊されている『名取市史』には食編の字が使われています。熊野堂大館もですね。名取市の高館地区お宝マップというものがあって、その中では、熊野堂大館跡、川上大館跡、桑島館跡、いずれも食編を使っています。

委 員

そうですね。これは食編の方が正しいですね。ありがとうございます。

委 員

「大館山」には「館」という字を使っていますが、「大館跡」になると食編を使っている。それから、板碑調査は多分この報告書を使って調査しているのかと思います。

委 員

名取熊野部会の専門部員が名取市の出した報告書を見て、それを使えるのか調べたところ、何かいろいろと問題があるということでした。そこで、いま名取熊野部会の専門部員を中心に精査しています。

委 員

板碑の定義というのと、私なりに解釈すると、梵字が彫られていて、中世の供養碑だということよろしいですか。

委 員

おおよその方向になります。

委 員

そうですか。そうすると、それから外れるのが2基あります。その中に、大門山の東、南に

なるのかな、往生院跡とされている田んぼの中に、「南無阿弥陀仏」と彫られた碑があります。あれは 1310 年のものですが、梵字は彫られていないのですよ。これも板碑になりますか。

委 員

信仰に関わる中世の石碑というふうに考えれば良いと思います。全国的に見ると「南無阿弥陀仏」ですとか「南無妙法蓮華經」と彫った板碑も、数は多くはないですが、それなりにありますので。

委 員

中世の石碑であれば梵字が彫られていなくても板碑とするということですか。

委 員

中世のものと思われる何も彫られていない石碑に、金や墨で文字を書いている例もあります。そういうものを含めて、幅広く見ていく必要があるかなと思っております。その上で、最終的にそれを板碑としてカウントしていくか、別なものとしてカウントしていくかは、今後の検討になるかと思います。

委 員

それからもう 1 点ですが、逆に、先日委員とも一緒に回って見てもらいましたが、元中田の長性寺にある板碑、断碑ですが、キリークの梵字が彫られていて、江戸時代の年号も彫られているものがあります。それが改刻された板碑であるとの報告書には載っています。これは板碑としますか。

委 員

それは実物を見て、判断する必要があります。

委 員

これも実物を見ないとわかりませんが、報告書では薬研彫と書いてあります。私の見解は違って、丸彫に近いと思っています。私の乏しい知識では、これを板碑だと、近世に改刻して作り直していると断言はできないのですが、何でこの報告書では断言できたのかということを知りたいと思っています。

委 員

具体的なところは今後検討が必要になると思います。ただ、中世の板碑を近世に加工して、利用するということはありますので、その辺はしっかり確認する必要があるかと思います。

委 員

それから、民俗・地域誌部会の報告で調査実施が計 20 回となっているところですが、高館の「館」の字が間違っているのを、訂正をお願いしたいです。

委 員

わかりました。そうですね、館が誤字になっています。

委員長

他に、皆様から何かございますか。よろしいですか。よろしければ以上を令和6年度の事業報告とさせていただきます。

②令和7年度調査に係る予算

委員長

それでは、続きまして、報告の②令和7年度の調査に係る予算ということで、事務局から報告お願いいたします。

事務局

〔資料に基づき説明〕

委員長

皆様の方からご質疑、あるいはご意見でも構わないと思いますが、何かございますか。よろしいですか。それでは以上で、令和7年調査に係る予算の報告とさせていただきます。

(2) 協議事項

①令和7年度事業計画

委員長

それでは令和7年度の事業計画について進めてまいります。事務局から説明をお願いします。

事務局

〔資料に基づき説明〕

委員長

では、続いて、資料6として各専門部会の令和7年度の予定等がまとめられておりますので、各部会からもご説明いただいてよろしいでしょうか。

委 員

原始・古代部会からですね。原始・古代編は来年度執筆というスケジュールになります。

〔資料に基づき説明〕

委員長

続いて中世部会、よろしいですか。

委 員

〔資料に基づき説明〕

板碑については、名取熊野部会の調査を優先していただいて、そちらの状況を見ながら随時、調整して着手し、進めていきたいと考えております。以上です。

委員長

はい。ありがとうございます。

それでは続いて、近世部会をお願いします。

委 員

近世部会についても私から説明します。

〔資料に基づき説明〕

市内は当然ですが、遠隔地の調査もしっかりと行いたいと考えております。以上です。

委員長

はい。ありがとうございます。

続きまして、近代・現代部会の説明をお願いします。

事務局

近代・現代部会につきましては、事務局から説明いたします。

〔資料に基づき説明〕

委員長

ありがとうございます。

事務局

引き続き、名取熊野部会につきましても、事務局から説明させていただきます。

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい。ありがとうございます。

それでは続きまして、民俗・地域誌部会をお願いいたします。

委 員

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい。ありがとうございます。

資料4のスケジュール、資料5の工程案、そして資料6として各部会の令和7年度の予定の説明をいただきました。皆様の方からご質疑あるいはご意見等、何かございますか。

委 員

聞くところによりますと、専門部員の方に名取市出身者が少ないということです。中世部会、近世部会においては名取市の出身者はゼロだということで、その地域に生まれ育った人の感覚で文書を書いてもらえるのかどうか危惧しています。それで、工程案の校正の段階には「各部員・編さん室・受注業者」とありますが、部会で校正するというのでしょうか。

事務局

はい。部会でも校正いたします。

委 員

やはり名取市の出身者がいないと、見落とされるものがあるという、私の危惧ですけれども、そういうことがないように、十分な校正を行っていただきたい。後で正誤表を出すようなみっともないことをしないでいただきたいというのが私からの要望です。以上です。

委員長

はい。ありがとうございます。

委 員

よろしいですか。いまの委員の懸念はもっともだと思います。私も『仙台市史』を編集する中で、仙台市出身ではない方にたくさん執筆に交ざっていただいたのですが、「こんなこともわからなくて『仙台市史』を書くのか」という人もいました。ただ、いろいろ勉強して、調査をしていただく中で、そういったところも払拭されます。とはいえ原稿が上がってくると、私はずっと仙台市ですが、ちょっとおかしいなというところもありまして、そういったところは全部編さん室の方で修正意見を校正やその前の調整の段階で遠慮なく出させてもらいました。特に地域的なところのミスは、委員が懸念されるように、地元にとっては大きなところがありますので、随分気をつけて見てきたつもりでおります。そのことも踏まえると、ぜひ市史編さん室でしっかり見ていただくということをお願いしたいと思っているところです。

委員長

より良い『名取市史』を目指すというところは共通の思いだと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

他に皆さまの方から何かご質疑あるいはご意見等ございますか。

委 員

1点だけ。名取熊野部会で熊野本宮社の資料調査を予定していると思うのですが、いま現在で、熊野本宮社にはどのような資料があると踏んでいますか。

事務局

現状では、おそらくあるはずだという資料は近世の「本宮永留」です。

委 員

それは活字になっていますよね。

事務局

なっています。その現物の調査が必要と考えています。あとは、神像、ご神体、棟札、神輿、そういったものの調査を想定しています。ただ、まだ1度も調査に入れていないので、その他に何があるのか、具体的には返答が難しいです。ついでに補足しますと、本宮社だけではなく、新宮社の方もまだ調査が十分ではないので、継続して調査に入っていくことも計画しております。

委 員

本宮社には相当資料があるという話も聞くので、もし、それを見ることができるのであればと思いました。

委員長

他に何かございますか。よろしいですか。

これは協議ということになっておりますので、皆様からご承認をいただけるかどうかお諮りしたいと思います。それでは、①令和7年度事業計画について、皆様のご承認をいただいたということによろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

それでは、協議事項の2、②執筆要項について進めてまいります。事務局から説明をお願いします。

②執筆要項

事務局

〔資料に基づき説明〕

委員長

ありがとうございます。執筆要項につきましては、専門委員会で細かいところを調整し、本日皆様にお諮りしているところでございます。皆さまからご質疑、ご意見等があれば、お受けしていきたいと思えます。何かございますか。よろしいですか。

いよいよ令和7年度から原始・古代の執筆が始まるということでございます。この執筆要項を踏まえて執筆いただきます。

それでは、ご承認いただけるかどうかお諮りいたします。執筆要項について、資料7のとおりに進めるということによろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。執筆要項についてもご承認をいただいたということで、本日の議事については、すべて終わりでございます。

次に4 その他ということで、広報活動について、事務局より説明をお願いします。

4. その他

(1) 広報活動

事務局

〔資料に基づき説明〕

委員長

はい。ありがとうございます。毎週月曜日に3回放送されるということです。

委 員

どうですか。「なとらじ」を聞いている人は、どのくらいいますか。身近な人でラジオを聞いているという人が、そんなにいない気がします。

委員長

事務局は情報がありますか。

事務局

秋まつりの際に、市民からどのくらい聞いているかというアンケートをとったらしいです。それによると、それなりに聞かれているようです。

委 員

AMラジオと比較するとどうですか。

事務局

AMラジオとの比較については、そのときのアンケートでは聞いておりませんので、把握しておりません。

委 員

例えば、収録した録音データを市史編さん室でもらって、将来的にインターネットで流せるようにするとか、あるいは歴史民俗資料館で聞けるようにするとか、市役所で聞けるようにするとか、そうしたことを考えても良いかと思います。

事務局

そちらの方も検討しておりますが、著作権などの制約もあり、どこまで一般向けに流せるのか、そこは確認中でございました。

委 員

はい。あとは、この際なので聞きますが、市史編さんの浸透度というか、市民全体に大体どれくらい知れ渡っていると思いますか。ちょっと難しい質問だと思いますが。実は私の方で、町内会の総会があったときに聞いてみました。どれぐらいの人が市史編さんを知ってい

るのか聞いたのですが、60 人いるうちの 1 割程度でした。そういう面を調査してみる必要があるかと思っています。調査の結果、浸透度が悪かったら、何か方策を考えないといけないと思ったりもしていますが、いかがでしょうか。

副委員長

はい。貴重なご意見ありがとうございます。

さきほど事務局からも説明があったように、『広報なとり』に関連記事を載せたり、『名取市史だより』を年に1回全戸配布したりしていますが、実際に興味を持って、広報や市史だよりを手にとって、深く読み込んでもらえているかということですね。広報にもいろいろな記事が載っていますので。

いよいよ刊行もあと2年後に迫っていますので、市史編さんをしているということ、もうすぐ発刊されますということのPRを考えていきたいと思います。

委 員

よろしくお願いします。

委員長

あと、名取市では防災ラジオを推奨しております。防災ラジオはスイッチを入れなくても、いざというときは電源を入れてなくても、コンセントにさえつないでいれば、一方的に防災情報が流れるというものです。防災ラジオはエフエムなとりをメインで聞けるというラジオでございます。そういったものもありますので、エフエムなとりの普及に関しましては市役所の方でも努力をしてまいりたいと考えております。

委 員

防災ラジオですと、エフエムなとりの放送がはっきり聞こえます。あれを皆さんにお買い求めいただいて。うちでは常時かけています。

委 員

私も休みの日に仕事しているときは、ずっと防災ラジオを聞いています。

委員長

はい。他に皆様から何かございますか。よろしいですか。

それでは広報活動については以上でございますが、事務局からその他に何かありますか。

事務局

4 月 12 日に笠島廃寺跡発掘調査の成果を市民にお示しする現地説明会を行うこととなりました。昨年度から市史編さん室で発掘調査をしまして、今年度は補足調査を実施しました。その成果を市民にお知らせする場として準備しております。皆様にもぜひお越しいただきたいと思います。

委 員

駐車場がないですね。

事務局

駐車場に関しては「農村婦人の家」という徒歩 10 分ぐらいの場所に用意します。

委員長

はい。他に発掘調査現地説明会について皆様からご質疑、確認等ございますか。よろしいですか。

他には事務局から何かありますか。

事務局

長時間にわたりありがとうございました。事務連絡をさせていただきます。

会議録につきましては、後日送付させていただきます。内容をご確認いただきまして、修正等がございましたらご連絡いただければと思います。

次の開催については、6 月頃開催を目安としておりますが、日程調整については改めてご連絡をいたします。

委員長

他に何かございますか。よろしいですか。

長時間にわたり、ご審議そして活発なご意見を頂戴いたしました。ありがとうございました。今後とも引き続きよろしくお願いを申し上げたいと思います。

5. 閉 会

事務局

以上で令和 6 年度第 2 回名取市市史編さん委員会を終了いたします。お疲れ様でした。